いのち、くらし、平和が大事！

日本共産党京都市議会議員

山本陽子 活動ニュース

熊本地震被害
御見舞い
申し上げます

雇用のヨーコ！
子育てのヨーコ！
困ったときのヨーコ！

VOL. 11　2016年4月24日号

連絡先　日本共産党山科区生活相談所　山科区西野大手先町8－8　☎595-8342

京都駅八条口駅前広場プレオープン

京都駅八条口駅前広場のプレオープン式典に、まちづくり委員会の委員として参列してきました。

複雑に入り組んだ導線ですが、タクシー乗り場は西側、タクシー降り場や一般車乗降場（5台分）、障がい者スペース（2台分）などの送迎ゾーンは東側に整理されています。式典の場所にもなった拠点広場の建設によって、雨の日も濡れずに駅から移動することができるようになりました。

タクシーの乗り入れが契約車に限定されて、2キロ離れた第2プールから出庫してきます。これで問題はないのか。お気づきの点があればご意見ください！

保育園・待機児童問題についての申し入れ

保育園入所問題は、京都市においても「遠くの保育園に入れざるをえなかった」「きょうだい別々の保育施設になった」など不満が渦巻いています。

そこで、日本共産党京都府委員会、日本共産党京都市会議員団として京都市に対し以下の内容で申し入れを行いました。

①第一次審査結果を公表し、需要見込みの検証行うことなど
②整備計画は認可保育園の新増設を基本とすることなど
③本市独自の保育士の処遇改善の制度『プール制』の再構築
④国に対して、保育所新増設のための支援制度の創設、保育士の処遇改善を強く求めることなど。

国が打ち出した待機児童緊急対策は、小規模保育事業の定員を19人から22人に拡大することや、自治体が独自に配置基準を上乗せしている分の保育士の配置を国基準まで引き下げるように求めるなど、より劣悪な環境へ導くものとなっています。また保育士確保が困難ななかで処遇改善策はまったく盛り込まれていないなど、問題が多いと言われています。

京都市は、保育士の処遇改善に真正面から取り組み、国の求めに応じた基準の引き下げではなく、認可保育所の増設こそスピードを加速させ取り組むべきです。

熊本地震救援募金

4月14日から連続して熊本・大分一帯を襲った熊本地震は大きな被害を出しています。被害に遭われた住民の皆様には心からのお見舞いを申し上げます。

私も、大河原としたか（弁護士・参議院議員予定候補），女性後援会のみなさんとともに、ただちに街頭から訴え、救援募金活動に取り組みました。

日本は地震列島と言われます。どこで大地震が起きても不思議ではありません。大地を引き裂き、家屋をぺちゃんこに押しつぶす地震の怖さを改めて痛感すると共に、この日本に原子力発電所が存在することは間違っていると思わずにはいられません。

洲崎排水機場集中監視システムの見学

小栗栖の排水機場で起こった人的原因による事故が周辺地域への浸水被害を拡大させた教訓から、京都市は集中監視システムという新たな対策をとることになりました。

これまで各排水機場に監視員を配置していたものが無人となり、洲崎からの集中監視と巡回点検という体制になります。

映像は高感度で、夜でも詳細な状況を監視できるといいますが、川にゴミが流れてきて集まれば、これが障害となり排水に問題が生じることになります。ゴミがあれば除去するための点検を行っておられますが、作業員さんからのお願いです。

「川にモノを捨てないようにしましょう」。

ヨーコのママチャリ子育て日記

新学年が始まりました。

小学校二年生となった娘は、クラス替えはあったものの一年生のクラス担任と同じ先生。娘も夫も（？）大好きな先生なので、親としても一安心です。

一年生の終わりに学校での一年間の製作物を持って帰ってきました。そのなかにあった、「家族へのありがとう」の文章がおかしくて、嬉しかったです。

「お母さん、朝早くからせんでんしてくれてありがとう。原発いらないのせんでんしてくれてありがとう。お父さん、朝早くおきて朝ごはんつくってくれてありがとう」

…ありがとうの内容が、なんとも我が家の家庭の状況を表わしていて感謝です（笑）。

戦争法廃止の政府を！◆ 2016 **京都まつり**　4月29日（祝・金）　雨天決行　10時～3時　宝が池公園一帯